

環境経営レポート



2024年度版

(2024年1月1日~2024年12月31日)



YOKOTE VILLAGE
ナミキノマチ

新築住宅分譲地／福岡市南区横手南町



2025年2月20日 発行

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 事業活動の概要	2
3. 認証・登録の対象組織・活動	2
4. 実施体制図	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営目標の達成状況と環境経営計画の取組結果・評価、並びに次年度の目標及び計画	
(1) 二酸化炭素排出量削減	5
(2) 総排水量削減	6
(3) 廃棄物排出量削減	7
(4) 化学物質の適正使用・適正管理	8
(5) 環境配慮の設計・施工	9
(6) 地域貢献活動	10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	11
8. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	12
9. その他の事業活動の紹介	13

1. 環境経営方針

私たちは「持続と発展」を経営理念とし、建設サービス業として、お客様と地域社会へ安心・安全で快適な暮らしを提供するために、「暮らしにまつわるワンストップサービスができるファーストコールカンパニー」を目指します。そして、企業の社会的責任として環境にやさしい企業活動を全従業員一丸となって継続的に取り組みます。

■ 企業活動にあたり、環境への保全を目的とした、以下の事項に重点をおいて取り組みます。

- 事務所及び現場で使用する電力、電灯及び車両のガソリン使用量を把握し、節電、燃費改善に努め、二酸化炭素排出量の削減を実現する。
- 事務所、及び現場における水道水の使用量を把握し、節水に努める。
- 事務所、及び現場における廃棄物の排出量を把握し、最終処分量を削減する。
- 現場における化学物質使用量を適正に管理する。
- 環境に配慮した建物の設計・施工に努める。

これらの重点事項を実現するため、具体的な計画を策定・運用し、取組をチェックして必要な見直しを行い、環境経営の継続的改善を実践していきます。

■ 関係する環境関連法規を遵守します。

■ 地域清掃活動及びボランティアへの積極的な参加を行い、地域貢献活動の推進に努めます。

2012年10月 1日 作成

2022年 1月 11日 改訂



代表取締役社長

百田 善太郎

2. 事業活動の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 百田工務店 代表取締役社長 百田 善太郎

(2) 所在地

本社 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津1丁目4番5号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 管理室 的場 亜矢子
担当者 管理室 戸高 宏樹
連絡先 TEL:092-611-2661 FAX:092-611-1477
E-mail info@momota.co.jp
ホームページ http://www.momota.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業・建築設計・宅地建物取引業

建設業許可 福岡県知事(特-4)第35073号
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11111号
宅地建物取引業 福岡県知事(13)第5023号

(5) 事業の規模

区分	2022年度 (2022.1~2022.12)	2023年度 (2023.1~2023.12)	2024年度 (2024.1~2024.12)
売上高(百万円)	1,293	1,328	1,552
従業員数(人)	30	30	29
本社床面積(m ²)	1,889	1,889	1,889

(6) 事業年度

1月~12月

3. 認証・登録の対象組織・活動

(1) 対象組織

株式会社 百田工務店 本社

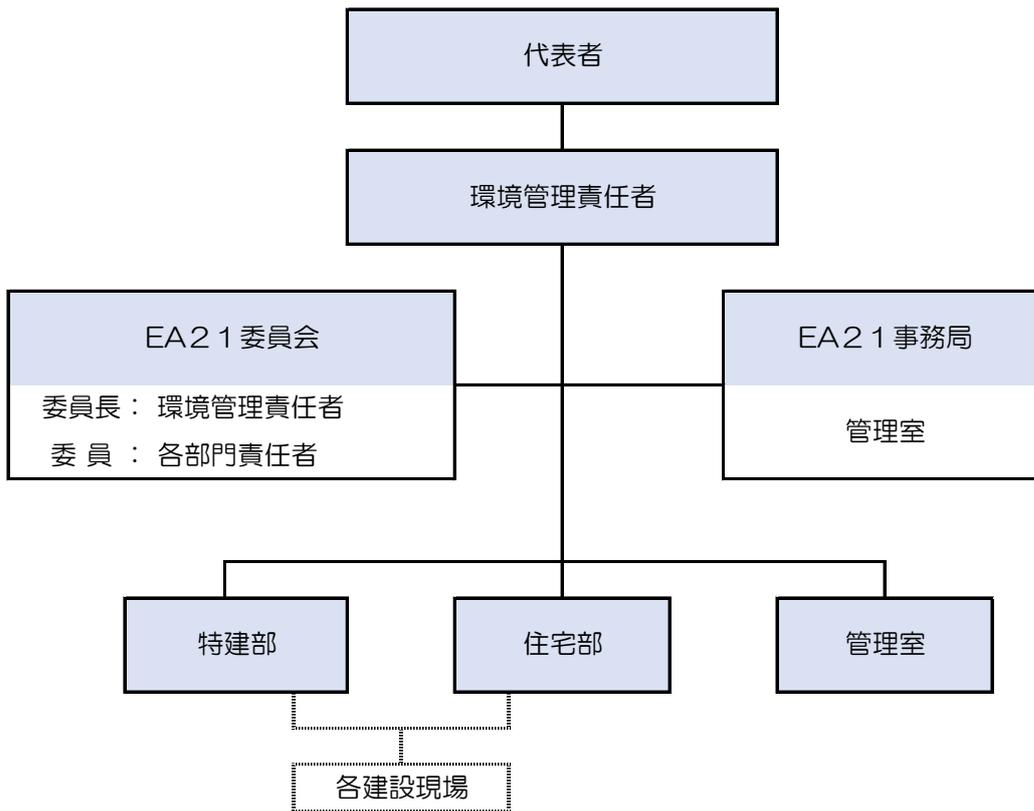
所在地 〒813-0034
福岡市東区多の津1丁目4番5号

(2) 対象活動

総合建設業・建築設計・宅地建物取引業



4. 実施体制図



所属	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針の策定、見直しを行い、従業員に周知する 環境管理責任者、EA21事務局員等を任命する 環境への取り組みを実施する為の資源（人・物・金）を準備する EA21全体の取り組み状況のチェック、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EAガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し実行し、環境実績を向上させる EA21全体の取り組み状況を従業員に周知する 環境方針、実施体制図の作成、見直しを行う 3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び、環境活動計画の実行状況を確認し、見直しを行う 上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 月に一度の会議にて、毎月の運用状況の把握を行い、問題点を検討し、改善点を明確にする。 環境管理責任者を補佐し、社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標、環境活動計画を作成する 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び、記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理を行なう
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する 環境目標達成の為、責任を持って自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加する

5. 環境経営目標

- 弊社の事業活動を踏まえて、以下の6項目をさらに細分した9項目について、サイト区分し、計17目標について単年度・中長期の環境経営目標を設定しました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期 年間目標			
			2023年度 (2023年1月～12月) 年間実績値	2024年度 (2024年1月～12月)	2025年度 (2025年1月～12月)	2026年度 (2026年1月～12月)	2027年度 (2027年1月～12月)	
1.二酸化炭素 排出量削減 (前年度比2%減)	事務所	kg-CO ₂	31,458	30,827	30,210	29,606	29,014	
	現場		22,572	22,120	21,678	21,244	20,819	
	計		54,030	52,946	51,888	50,850	49,833	
	ガソリン 使用量	L	事務所	7,265	7,120	6,977	6,838	6,701
			現場	8,461	8,293	8,127	7,965	7,805
			計	15,726	15,412	15,104	14,802	14,506
	電気 使用量	kWh	事務所	42,085	41,243	40,418	39,610	38,818
			現場	8,478	8,308	8,142	7,979	7,820
			計	50,563	49,552	48,561	47,589	46,638
2.総排水量 削減 (前年度比2%減)	水 使用量	m ³	事務所	120	118	115	113	111
			現場	241	236	231	227	222
			計	361	354	347	340	333
3.廃棄物最終 処分量削減	(1) 一般廃棄物 (その他のごみ) (前年度比2% 減)	事務所	t	0.90	0.88	0.86	0.85	0.83
	(2) 産業廃棄物 (リサイクル率 90%以上)	現場	%	95%	90%	90%	90%	90%
4.化学物質の適正使用 適正管理	現場	-	適正に使用・管理 する	適正に使用・ 管理する	適正に使用・ 管理する	適正に使用・ 管理する	適正に使用・ 管理する	
5.環境配慮の設計・施工 (毎月1件以上)	現場	件	15	12	12	12	12	
6.地域貢献活動 (前年度維持)	事務所	件	4	4	4	4	4	

※備考

- 二酸化炭素排出量の算定にあたり、購入電力の排出係数について九州電力㈱の2018年度実績の調整後排出係数0,347(kg-CO₂/kWh)を用いた。
- 各項目の () 内は、環境目標の設定内容である。

6. 環境経営目標の達成状況と環境経営計画の取組結果・評価、並びに次年度の目標及び計画

- 2024年度における環境経営目標の達成状況と環境経営計画の実施状況は、以下のとおりです。
- 今年度は環境経営計画に基づき、以下の取り組みをSDGs（17のゴール）と紐付けて実施しました。



(1) 二酸化炭素排出量の削減

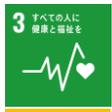
◇環境経営目標の達成状況と評価

環境経営目標	サイト区分	単位	目標	実績	達成率	達成状況	
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量	事務所	kg-CO ₂	30,827	29,010	106%	○
		現場	kg-CO ₂	22,120	17,358	127%	◎
		計	kg-CO ₂	52,946	46,367	114%	○
	ガソリン使用量	事務所	L	7,120	6,785	105%	○
		現場	L	8,293	6,171	134%	◎
		計	L	15,412	12,957	119%	○
	電気使用量	事務所	kWh	41,243	38,236	108%	○
		現場	kWh	8,308	8,761	95%	△
		計	kWh	49,552	46,997	105%	○

【達成状況の判定】 ◎：達成率≥120% ○：120%>達成率≥100% △：100%>達成率>80% ×：80%>達成率 -：測定不可 ※達成率＝（削減目標/実績）×100%

※達成率＝（削減目標/実績）×100%

◇環境経営計画の実施状況と評価

環境経営目標	サイト区分	活動項目	実施状況		
二酸化炭素排出量削減    	ガソリン使用量	事務所・現場	急加速、急発進、無駄なアイドリングをなくし、エコドライブを実践する。	○	
		事務所・現場	積載量を減らして燃費の向上を図る。	○	
		事務所・現場	オイルやタイヤ交換等必要な車両整備の徹底。	◎	
	電気使用量	事務所	事務所	電気の“見える化”。スイッチにシールを貼り、不要な照明はこまめに消す。	◎
			事務所	冷暖房・扇風機に紙をつけて、つけっぱなしを無くす。冷暖房の温度設定を決めて実行する。	◎
		現場	現場	現場内照明器具の不在時の消灯の徹底。	◎
			現場	節電シールを貼り、こまめに消す。 冷暖房の温度設定を決めて実行する。	◎

【実施状況の判定】 ◎：よく実施されている（定着） ○：実施されている △：あまり実施されていない ×：実施されていない -：判定できない・該当しない

評価 及び 次年度の目標及び計画

- 温度計や温湿度付き時計を活用し、冷暖房を使用する室温を決めて、温度変化に対応した使用を行い、電力の使い過ぎを防止した。
- 社用車を燃費性能の良い車両に入れ替えた。
- 次年度も計画を継続し、削減目標を前年度実績値の2%減として取り組む。

▼節電・エアコン適正使用を掲示



(2) 総排水量の削減

◇環境経営目標の達成状況と評価

環境経営目標	サイト区分	単位	目標	実績	達成状況	達成状況	
総排水量 削減	水 使用量	事務所	m ³	118	115	102%	○
		現場	m ³	236	104	227%	◎
		計	m ³	354	219	162%	◎

【達成状況の判定】 ◎：達成率≥120% ○：120%>達成率≥100% △：100%>達成率>80% ×：80%>達成率 -：測定不可 ※達成率＝（削減目標/実績）×100%

※達成率＝（削減目標/実績）×100%

◇環境経営計画の実施状況と評価

環境経営目標	サイト区分	活動項目	実施状況	
総排水量 削減 	水 使用量	事務所	お茶出し時や清掃時に、ため洗いをする。	○
			手洗い時は水を出しっぱなしにしない。	◎
		現場	手洗い時は水を出しっぱなしにしない。	◎
			現場の土流しに使う上水を減らす工夫をする。	○

【実施状況の判定】 ◎：よく実施されている（定着） ○：実施されている △：あまり実施されていない

×：実施されていない -：判定できない・該当しない

評価 及び 次年度の目標及び計画

- ・ 全体会議でも節水を呼びかけ社員一人ひとりが取り組んだ。
- ・ 工事内容により増加することも多いが、現場では、協力業者会議でも節水の呼びかけを行った。
- ・ 次年度以降も定期的な呼びかけを続けて、削減目標を前年度実績値の2%減として取り組む。

▼節水ステッカーを掲示して節水を呼び掛けている



(3) 廃棄物排出量の削減

◇環境経営目標の達成状況と評価

環境経営目標	サイト区分	単位	目標	実績	達成率	達成状況	
廃棄物最終処分量削減	一般廃棄物 その他可燃ごみ	事務所	t	0.88	0.90	98%	△
	産業廃棄物	現場	% (リサイクル率)	90%	94%	105%	○

【達成状況の判定】 ◎：達成率≥120% ○：120%>達成率≥100% △：100%>達成率>80% ×：80%>達成率 -：測定不可 ※達成率=(削減目標/実績)×100%

※達成率=(削減目標/実績)×100%

◇環境経営計画の実施状況と評価

環境経営目標	サイト区分	活動項目	実施状況	
廃棄物 排出量削減 	一般廃棄物 その他可燃 ごみ	事務所	社内文書は積極的に裏紙を使用する。 縮小コピー、両面コピーの推進。ミスプリントの削減。	◎
			メールで済むものはデータでやりとりし、ペーパーレス化を進めて用紙使用量を削減する。	◎
			複合機カウンター数の自己記入。 印刷物1枚に対するコスト意識を向上させる。	◎
	産業廃棄物	現場	トンバックに入れる前に、他に活用できないか考える。	○
			ダンボール、紙類はリサイクル業者へ出す。	◎
			マニフェストを適正管理する。	◎

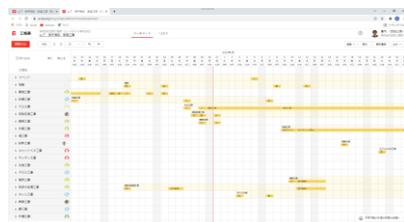
【実施状況の判定】 ◎：よく実施されている ○：実施されている △：あまり実施されていない

×：実施されていない -：判定できない・該当しない

評価 及び 次年度の目標及び計画

- 現場においてマニフェストの適正管理は徹底できた。
- 提案資料や写真などはiPadにデータとして取り込み、出力用紙の削減に努めた。
- 新築部門では現場管理アプリ「アンドパッド」を活用し図面やメッセージのやり取りを行い、ペーパーレスに努めた。
- 今後も計画を継続し、一般廃棄物は削減目標を前年度実績値の2%減、産業廃棄物はリサイクル率90%として取り組む。

▼現場管理アプリ「アンドパッド」を活用



▼iPadを活用してペーパーレスに努めている



(4) 化学物質の適正使用・適正管理

◇環境目標の達成状況と評価

環境経営目標	サイト区分	単位	目標	実績	達成率	達成状況
化学物質の 適正使用・適正管理	現場	—	適正に使用・管理する	適正に使用・管理した	—	○

【達成状況の判定】 ◎：達成率≥120% ○：120%>達成率≥100% △：100%>達成率>80% ×：80%>達成率 -：測定不可 ※達成率=(削減目標/実績)×100%

◇環境経営計画の実施状況と評価

環境経営目標	サイト区分	活動項目	実施状況
化学物質の 適正使用・適正管理 	現場	使用した塗料の製品安全データシート（SDS）と出荷 証明書を大規模現場では取り寄せ、適正に使用・管理する。	◎

【実施状況の判定】 ◎：よく実施されている（定着） ○：実施されている △：あまり実施されていない

×：実施されていない -：判定できない・該当しない

評価 及び 次年度の目標及び計画

- 出荷証明書と共に、安全データシート（SDS）を取り寄せて適正な使用量を確認し、管理した。
- 次年度も継続して適正に使用・管理を進める。

(5) 環境配慮の設計・施工

◇環境経営目標の達成状況と評価

環境経営目標	サイト区分	単位	目標	実績	達成率	達成状況
環境配慮の設計・施工	現場	件	12	13	108%	○

【達成状況の判定】 ◎：達成率≥120% ○：120%>達成率≥100% △：100%>達成率>80% ×：80%>達成率 -：測定不可 ※達成率=(削減目標/実績)×100%

※達成率=(削減目標/実績)×100%

◇環境経営計画の実施状況と評価

環境経営目標	サイト区分	活動項目	実施状況
環境配慮の設計・施工 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	現場	情報発信を行う。環境に配慮した設計・施工を推進する。	○

【実施状況の判定】 ◎：よく実施されている(定着) ○：実施されている △：あまり実施されていない

×：実施されていない -：判定できない・該当しない

評価 及び 次年度の目標及び計画

- 低炭素住宅や長期優良住宅、BELSなど、幅広い環境配慮の設計・施工を行った。
今後も環境に配慮した設計・施工を推進していく(毎月1件以上)。

▼高性能住宅をお客様に提案(福岡市南区横手南分譲地)



(6) 地域貢献活動

◇環境経営目標の達成状況と評価

環境経営目標	サイト区分	単位	目標	実績	達成率	達成状況
地域貢献活動	事務所	件	4	6	150%	◎

【達成状況の判定】 ◎：達成率≥120% ○：120%>達成率≥100% △：100%>達成率>80% ×：80%>達成率 -：測定不可 ※達成率＝（削減目標/実績）×100%

※達成率＝（削減目標/実績）×100%

◇環境経営計画の実施状況と評価

環境経営目標	サイト区分	活動項目	実施状況
 地域貢献活動	事務所	流通センター内の行事に積極的に参加し、地域清掃活動、ボランティア活動に取り組む。	○

【実施状況の判定】 ◎：よく実施されている（定着） ○：実施されている △：あまり実施されていない

×：実施されていない -：判定できない・該当しない

評価 及び 次年度の目標及び計画

- 積極的にボランティア参加した。
- 今後も地域貢献の一環として、ボランティア活動に積極的に参加していき、前年度実績値を維持できるように努める。

▼流通センターまつりボランティア活動に参加



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規の遵守状況を確認した結果、2024年度の運用期間において法令違反はありませんでした。また、その他、関係機関等からの違反等の指摘や外部から苦情等の発生も過去3年間ありませんでした。

法規制等	遵守事項（法規制／自主規制）	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託先業者選定基準・委託基準の遵守	○
	保管基準の遵守	○
	許可業者への委託	○
	委託基準の遵守	○
	管理票（マニフェスト票）の交付	○
	管理票（マニフェスト票）の写しの送付を受けるまでの期間	○
	管理票（マニフェスト票）の写しの保存期間	○
	管理票（マニフェスト票）に関する知事への定期報告	○
	現地確認の努力義務	○
	建設廃棄物の保管	—
	産業廃棄物減量化計画の作成、実施状況の報告	—
建築基準法	石綿含有建材、加圧珪石、ホムアルデヒドに対する衛生上の措置	—
建設リサイクル法	再資源化等の実施義務の遵守	—
騒音規制法	該当する工事の届出義務	—
	規制基準の遵守	—
振動規制法	該当する工事の届出義務	—
	規制基準の遵守	—
リサイクル法	発生抑制（施工方法、資材選択）。再利用、再生利用、再資源化努力。	—
再生資源利用省令	再生資源利用計画の作成。体積が1000m ³ 以上である土砂、重量が500 tである砕石、重量が200 t以上である加熱アスファルト混合物	—
石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第2版）	現場保管及び搬出時	—
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出 解体等工事の事前調査、説明、掲示の義務	—
労働安全衛生法	建築工事計画届けの提出等	—
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン	建設汚泥を建設資材として利用する場合土壌の汚染に係る環境基準に適合しないものは、適用範囲外	—
フロン排出抑制法	機器の設置・使用環境の維持保全、簡易点検	○
	冷媒用フロンの回収・破壊の措置	—

8. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

(1) 取組状況の評価

- ・ 二酸化炭素排出量の削減目標は、事務所ではオフィスカジュアルが浸透して、気温に合わせた過ごしやすい服装をするなど各個人で調整して、極端なエアコン設定温度をする必要がなくなりました。現場ではエコドライブについて各ドライバーに呼び掛けた。また、遠方へ行く時の乗り合わせなど工夫を行いました。
- ・ 総排水量の削減目標は、事務所でも現場でも達成することができました。引き続き全社員へ節水意識を呼びかけていきます。
- ・ 廃棄物排出量の削減目標については、現場では達成することができました。事務所では社内書類を電子申請で回すようにシステムを改善してペーパーレス化を促進しています。次年度以降もタブレット端末の活用と、SNSやITツールを駆使してさらに電子化を進めて、紙資源の削減に努めていきます。
- ・ 化学物質の適正使用・適正管理においては、安全データシート（SDS）と出荷証明書の発行を徹底しました。今度も継続して管理していきます。
- ・ 環境配慮の設計・施工については、お客様の環境意識への高まりもあり、幅広い環境配慮の設計・施工を行いました。次年度以降も環境に配慮した高性能住宅の提案を行っていきます。
- ・ 地域貢献活動では、地域行事やボランティアには積極的に協力しました。イベント時の設営、敷地提供なども行いました。

(2) 環境マネジメントシステム運用についての見直し結果

- ・ 環境経営システムの有効性においては、エコアクション21を取得し13年目となり、環境活動が全社員に定着しつつあります。今後も、2017年度版ガイドラインに沿った環境活動を行い、さらなる有効活用を目指していきます。
- ・ 環境への取組の適切な実施においては、企業の社会的責任として、環境への負荷・取組状況を把握し、適切な活動計画、実施をすることができました。今後も環境にやさしい企業活動に全員で取り組んでいきます。
- ・ 環境経営計画については、これまで取り組んできたエコアクション21の実施内容とSDGsの紐づけを行いました。今後も地球規模の課題解決に向けて、持続可能な開発目標に取り組んでいきます。
- ・ 次年度以降も2017年度版ガイドラインに沿って必要があれば改善の指示を行い、PDCAサイクルが上手く回るように取り組みます。



代表取締役社長 百田 善太郎

9. その他の事業活動の紹介

ふくおか「働き方改革」推進企業

弊社は福岡市のふくおか「働き方改革」推進企業の認定企業です。

目標① 時間外労働の削減

生産性の高い組織を構築し、ワークライフバランスの実現を目指します。

目標② 年次有給休暇の平均取得日数の増加

社員一人一人が積極的に有給休暇を取得できる環境づくりに取り組みます。



子育て応援宣言企業・介護応援宣言企業

弊社は福岡県子育て応援宣言企業と介護応援宣言企業です。社員それぞれの働き方への希望を理解し、安心して仕事を続けられるように支援しています。



弊社で初めて男性が育休を取得しました



定期点検専属部署「お客室カスタマーセンター」

弊社で家を建てたお客様のお宅を定期的に点検する専属部署「お客室カスタマーセンター」を立ち上げました。初期不良や施工ミスがないかを確認し、壁クロスの開きなど特性上必ず起こるアフターケアを実施しています。

また、定期点検では建築知識だけではなく、お客様とのコミュニケーションなど学ぶことが多くあるため、新入社員の成長の場にもなっています。

